

呉版単元構想シート

本質的な問い	説明文を学ぶよさは何だろうか。
単元を貫く問い	ビーバーの巣作りは本当に大工事なのだろうか。
単元名 (題材名)	どうぶつのひみつをさぐろう「ビーバーの大工事」
個別の問い	<ul style="list-style-type: none">○ビーバーが木を切るのはなぜだろうか。○ビーバーがダムを作るのはなぜだろうか。○ビーバーが湖を作るのはなぜだろうか。○ビーバーはどのようにして巣を作るのだろうか。

主な学習活動

- 教材文を読み、課題を設定し、学習計画を立てる。
- 文章全体の構成を捉え、紙芝居に巣作りの順序をまとめる。
- 巣作りに関わるビーバーの体の構造を読み取り、紙芝居にまとめる。
- ビーバーがダムを作る理由を読み取り、紙芝居にまとめる。
- 動物の本を読み、動物のすごさを紙芝居にまとめる。
- 互いの紙芝居を読み合い、感じたことや分かったことを伝え合う。

単元名

どうぶつのひみつをさぐる
「ビーバーの大工事」

令和4年11月4日

男子14人 女子12人 計26人
2年1組教室

1 単元について

単元観

本単元は、動物について書かれた本や文章などを読み、内容の大体を捉えるとともに、説明の順序に着目しながら文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、分かったことを紹介することをねらいとしている。

本教材は、「ビーバーの大工事」という特徴的な題名であり、ビーバーがダムを作って巣を作る様子を順序に沿って紹介しているものである。そのため、ビーバーの巣作り（ダム作り）が大工事と言われる理由を考える過程で、巣作りの順序を考えながら内容の大体を捉える力を高めることができる。また、本文中には、巣作りに関わるビーバーの体の構造や機能、ダムを作る理由も書かれている。したがって、ビーバーが大工事を行う理由を考える中で、それらに関わる重要な語や文を考えて選び出す力を高めることもできると考える。

本単元では、ICT機器を活用し、活動の中に対話を取り入れることで、本中学校区が目指す資質・能力の向上を目指す。

児童観

本学級の児童は、5月に行った「たんぼぼ」の学習で、順序を考えながら内容の大体を捉え、たんぼぼの体の仕組みと仲間を増やす営みの関係を表す語や文を選び出し、「たんぼぼのひみつ」としてまとめる活動を行った。作成した「たんぼぼのひみつ」の記述から、説明されている体の仕組みを生長の順に正しく捉えることができた児童は67%であった。また、体の仕組みと仲間を増やす営みの関係を捉え、その視点で重要な語や文を選び出すことができた児童は59%であった。

これらのことから、児童の意欲をより高める言語活動を設定し、タブレットを活用したり、対話を取り入れたりすることで、説明されている順序を考えながら文章の大体を読み取る力や情報と情報の関係を捉え、その視点で重要な語や文を考えて選び出す力を高めていく必要がある。

指導観

本単元の指導に当たっては、児童が興味関心をもって教材や関連図書を読み、ねらいとする力を高めることができるよう単元を通して、「どうぶつすごいぞ紙しばい」を作る活動を設定し、課題の解決を目指して、紙芝居を作りながら教材文を読み取らせる。

まず、ビーバーが巣作りを行っている写真や絵の順序を変えて提示することにより、巣作りの順序を正しく読み取らせる。次に、巣作りとビーバーの体の構造や機能との関係、ビーバーがダムを作る理由を読み取らせ、吹き出しに書いて紙芝居に付け足させる。その際、必ず入れるキーワードや字数に制限を与え、限られた条件でまとめることができるようにする。また、ビーバーがダムを作らなかったらと仮定することにより、情報と情報の関係や理由を正しく捉えることができるようにする。

紙芝居が完成したら、友達同士で読み返すことで問いの解決を図る。そして感想を交流する中で、他の動物の紙芝居も作りたいという思いを引き出したあと、教材文を読み取った時と同じ視点で関連図書を読み、他の動物の知りたいことについて紙芝居にまとめさせていく。

【阿賀中学校区研究主題との関連】

主体的に学ぶ児童を育成するために、導入の工夫を行う。題名にある「大」を隠し、「ビーバーの□工事」として巣の写真と一緒に提示し、□に入る文字を予想させる。このことにより、「大工事」という言葉やビーバーの巣作りへの関心を高め、「ビーバーの巣作りは本当に大工事なのだろうか」「ビーバーはどのようにして巣を作るのだろうか」という問いを引き出し、教材文を読む目的をもたせる。

「授業における居場所づくり」に向けて、説明文を読み取ることが苦手な児童も、自分の考えをもてるように、ICTを用いて「のみのような歯」や「水かきがある後ろ足」「オールのような形をしている尾」等、実際の写真や動画を見せ、より理解できるようにしたり、ペアやグループでの活動を取り入れたりする。

単元の目標		
知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
○巣作りの順序について理解することができる。 ○巣作りと体の構造や機能との関係について理解することができる。	○巣作りの順序を考えながら内容の大体を捉えることができる。 ○巣作りに関わる体の構造や機能, そのような巣を作る理由を文章中から考えて選び出すことができる。	○動物のすごいと思ったことを紹介するために, 関連図書から必要な情報を集めて紙芝居にまとめ, 思いや考えを伝え合おうとする。
単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○巣作りの順序について理解している。 ○巣作りと体の構造や機能との関係について理解している。	○巣作りの順序を考えながら内容の大体を捉えている。 ○巣作りに関わる体の構造や機能, そのような巣を作る理由を文章中から考えて選び出している。	○動物のすごいと思ったことを紹介するために, 関連図書から必要な情報を集めて紙芝居にまとめ, 思いや考えを伝え合おうとしている。

2 指導計画 (全15時間)

次	時	学習内容	評 価			
			知	思	主	
一	1	・教材文を読み, 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ビーバーの巣作りは本当に大工事なのだろうか。</div>			○ ○ ○	○題名に着目して教材文を読み, ビーバーの大工事に関心をもとうとしている。
	2	・初発の感想を交流し, 学習計画を立てる。			○	○教材文を読んで, ビーバーのすごいところを出し合い, 学習計画を立てようとしている。
二	3 4	・文章全体の構成を捉え, 紙芝居に巣作りの順序をまとめる。	○			○巣作りの順序について理解している。 ○巣作りと体の構造や機能との関係について理解している。
	5 6	・「木を切り倒すビーバー」の中から巣作りに関わるビーバーの体の構造を読み取り, 紙芝居にまとめる。		○		○巣作りに関わるビーバーの体の構造を捉え, 大事な言葉を選び出している。
	7 8	・「ダムを作るビーバー」の中から巣作りに関わるビーバーの体の機能を読み取り, 紙芝居にまとめる。		○		○巣作りに関わるビーバーの体の機能を捉え, 大事な言葉を選び出している。
	9 本時	・「巣を作るビーバー」の中から, ビーバーがダムを作る理由を読み取り, 紙芝居にまとめる。		○		○ビーバーがダムを作る理由が分かる言葉や文を選び出している。
三	10	・「ビーバーの大工事」の学習を振り返り, 新しい課題を設定する。			○	○ビーバーの巣作りが大工事であることに感想をもったり, 他の動物の巣作りに関心をもったりしようとしている。

	11 12	・動物のすごいと思ったことを本で調べる。			○	○動物の本を読み、すごいと思ったことを見つけようとしている。
	13 14	・動物のすごいと思ったことを紙芝居にまとめる。		○		○動物のすごいと思ったことを読み取り、大事な言葉を選び出している。
四	15	・互いの紙芝居を読み合い、感じたことや分かったことを伝え合う。			○	○友達の「動物のすごいぞ紙芝居」を読んで感じたことや気付いたことを伝え合おうとしている。

3 本時の展開 (本時9 / 15)

(1) 本時の目標

ビーバーがダムを作る理由を読み取り、条件を満たしながら紙芝居にまとめることができる。

【資質・能力／思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆「支援を要する」児童への手立て	具体的評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
出会う・つかむ	1 前時を想起し、本時の学習課題を設定する。	○「ビーバーはなぜそんなに大きなダムを作るのだろう」という前時の振り返りを紹介し、本時の学習課題に繋げる。 主発問 ビーバーはなぜそんなに大きなダムを作るのだろう	
		めあて 読み取ったことを、キーワードを使って紙芝居に書こう。	
考える・深める	2 ビーバーがどこにどんな巣を作るのかを読み取る。 発問 ・どうして入り口は水の中なのですか？	○ビーバーの巣は湖の真ん中に作られること、入り口は水の中にあることを、巣の絵を湖の絵に配置させながら確認し、全員が確実に理解できるようにする。 ○「湖の真ん中」「入り口は水の中」という言葉を絵に貼ることにより、ビーバーがどこにどんな巣を作るのかが視覚的に捉えられるようにする。	<p>【授業での居場所づくりへの手立て】 ダムがある場合とない場合とでは、どう違うかをタブレットを使って、自分で操作させることで、自分で考え、自分の考えをもたせる。(決定の場を与える場の設定)</p> <p>○自力で書けない児童にヒントカードを渡し、自分で紙芝居が書けるという気持ちをもたせる。(自己存在感を与える) ○書いた紙芝居をペアで読み合ったり、クラス全体で考えを共有し合ったりすることで、学び合うことができるようにする。(共感的な人間関係の育成)</p>
	3 ビーバーがダムを作る理由を読み取る。 発問 ・もしもダムをつくらなかったらどうなるでしょう。 ・みんながビーバーならどっちに住みたいですか？	○本文のビーバーがダムを作る理由が分かる箇所に線を引かせる。 ○紙芝居をまとめる際の手立てとなるよう、児童が読み取った理由をチャート図に表す。 ○ビーバーがダムを作らなかったらと仮定して、どのようなことが起こるのかをダムを作った場合と対比させながら説明させることにより、ダムを作ることで安全を保っていることをより深く理解させる。 ○ビーバーの天敵であるオオカミは、得意ではないが泳げることを紹介する。	
	4 ビーバーがダムを作る理由を紙芝居にまとめる。 発問 ・紙芝居のセリフに入れるキーワードは何でしょう。	○ビーバーの視点でダムを作る理由を吹き出しに書かせる。 ○紙芝居に入れる2つのキーワード「みずうみ」「あんぜん」を全体で確認する。 ○2つのキーワードを入れて、72字以内でまとめることを伝える。 ○マスの外には、タブレットを使って操作をした時に分かったことを付け足して書かせる。 ◆書き出しを与え、ビーバーがダムを作る理由を紙芝居にまとめさせる。	

振り返る	5 本時のまとめをする。		
	6 本時の振り返りをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>まとめ ビーバーのダムづくりは、「みずうみ」と「あんぜん」の2つのキーワードでまとめることができる。</p> </div> <p>○例を挙げることで、「発展的振り返り」が書けるようにする。 ○本時の学習でビーバーの巣作りの紙芝居が完成したこと、次時は紙芝居を読み返して、課題の設定で自分達もった疑問を解決していくことを確認し、次時の学習への見通しをもたせる。</p>	

【発展的振り返り】

- ・ビーバーがこの後巣の中でどんな生活をしているのかを調べて紙芝居に書きたいです。
- ・ビーバーの紙芝居が完成したので、他の動物の紙芝居も作ってみたいです。